

文部科学省「地（知）の拠点整備事業」に係る滋賀県立大学申請事業の採択について

文部科学省が今年度から取り組む平成25年度「地（知）の拠点整備事業」（大学COC事業）に、滋賀県立大学が申請した取組（事業名称：「びわ湖ナレッジ・コモンズ ー地と知の共育・共創自立圏の形成ー」）が採択された。

1 文部科学省「地（知）の拠点整備事業」とは

この事業は、大学等が自治体等と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学を支援することで、「地域のための大学」として全学的に地域再生・活性化に取り組み、教育カリキュラム・教育組織の改革につなげるとともに、地域の課題（ニーズ）と大学の資源（シーズ）の効果的なマッチングによる地域の課題解決を行い、地域再生・活性化の拠点となる大学を形成することを目的として、文部科学省が今年度から開始し、公募を行ったもの。

（補助金基準額）5,800万円/年間 （補助期間）最大5年間

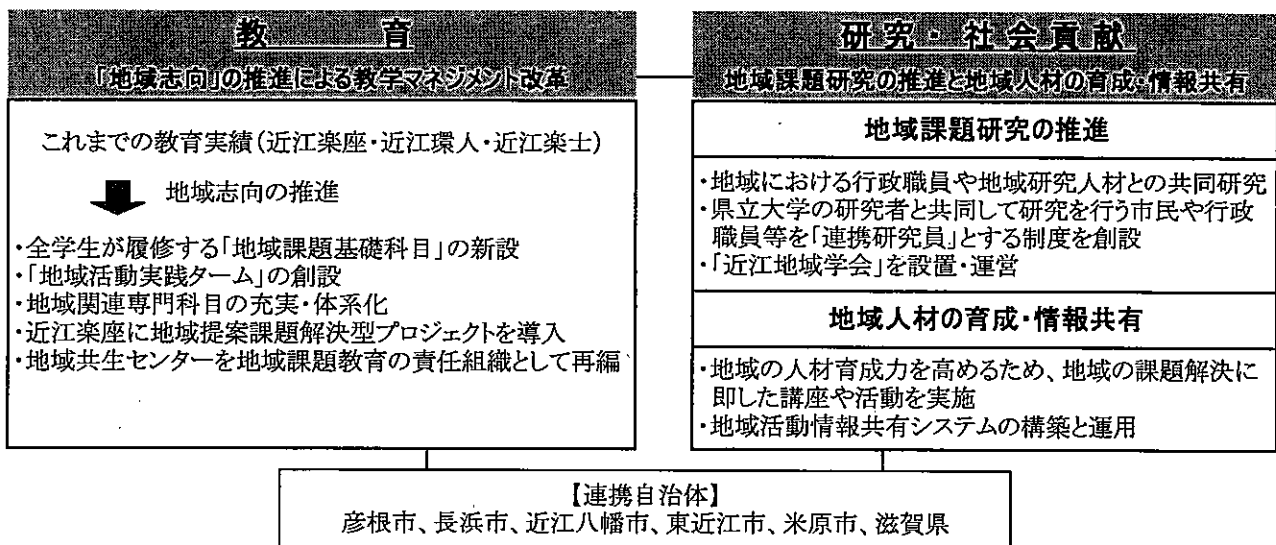
【応募状況と採択結果】

応募大学等	319件（342大学等）	内訳（国立64・公立66・私立212）
採択大学等	52件（56大学等）	内訳（国立24・公立15・私立17）
県内の 状況	応募大学	4件（4大学）
	採択大学	1件（1大学）
		内訳（国立1・公立1・私立2）
		内訳（国立0・公立1・私立0）

2 滋賀県立大学の事業概要

【事業名称】 びわ湖ナレッジ・コモンズ ー地と知の共育・共創自立圏の形成ー

県東北部に立地する唯一の総合大学として、その多様な教育研究シーズやこれまでの豊富な地域活動実績を活かし、少子高齢化や若者人口減少に起因する様々な地域課題解決に取り組む。期間は、平成25年度から平成29年度まで。



これらの取組を通じて、県立大学の地域志向を明確にし、地域と大学が人材を共育し、地域を共創する自立圏域をめざす。

3 滋賀県立大学の事業実施に係る県の支援

本事業の推進拠点となる「地域共生センター」について、公立大学法人滋賀県立大学に出資することにより、「びわ湖ナレッジ・コモンズ 一地と知の共有・共創自立圏の形成」の実施を支援する。

(1) 出資予定物件

地域共生センターの土地および建物

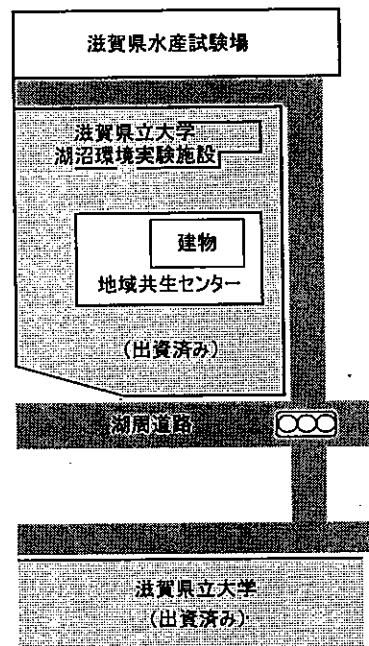
【所在地】彦根市八坂町3210番地1

【土地面積】1,887.27㎡

【建物面積】621.40㎡

【建築年月】平成15年3月

【現況】県からの貸付を受け、滋賀県立大学の
附属施設（地域共生センター）として活用



(2) 出資理由

対象事業には、自治体からの支援が必要となるほか、採択大学は補助期間中に事業体制を整備し、補助期間終了後は自立的に事業を継続できるよう求められていることから、本事業の拠点施設である地域共生センターを出資することにより、県立大学の機能強化を図る。

(3) 出資予定時期

平成27年4月1日

4 事業スケジュール

年度	大 学	県
平成25年度	事業開始（9月）	
平成26年度	↓	定款変更の議決（9月） 文科大臣・総務大臣の認可
平成27年度		文部科学省による中間評価 出資（4月）
平成28年度		
平成29年度		補助終了（3月）
平成30年度		自立的に事業継続（4月）